



# 2013年度 書き損じハガキ回収キャンペーン ご報告

2013年4月1日～2014年3月31日

## 【回収結果(2014/3/31時点)】

ご支援者 学校/団体様: **239**

個人様: **898**

### ハガキ

3,855,137 円

96,157 枚分

※50円はがき1枚=約38円

※50円以外のはがきも含む

### 切手

2,671,982 円

### テレカ

273,500 円

1,923 枚分

**総額 6,800,619 円**

※受取分の総計ではなく、集計した分の合計になります。未開封の分は集計後加算されます

ご支援頂いた皆様誠にありがとうございました。頂いた支援金の寄付先を報告いたします。

【寄付先】(2014年2月スタディツアーにて)

寄付額: **315,000 円 (\$3,000)** 1\$: 105 円換算

### ➤ MAG (Mines Advisory Group)

イギリスが運営する NGO で 1989 年より活動を開始し、カンボジアの他約 40 ヶ国以上で活動を展開している。



カンボジアのタイ国境沿いパイリン地区のグラハム村にて、地雷撤去現場視察。近隣で、1名が死亡、18名が負傷、現在8種類の対人地雷と17の不発弾を処理するも、1/4のエリアしか進捗していない。



### ➤ CSHD (Cambodian Self Help Demining)

幼い頃、少年兵として戦い自らも地雷を埋めた経験を持つアキラ氏が代表を務める地雷撤去団体。アキラ氏がこれまでに撤去した地雷の数は5万個以上。撤去した地雷などは多くの人に知ってもらう為にカンボジア地雷博物館に展示されている。



バタンバン州にある日本人がドナーとなり建設した小学校から直線距離で600m位の所にある地雷原を視察。ソ連製対人地雷 PMN II が見つかри その場で爆破処理。子供たちの日常に潜む地雷の危険性を改めて痛感。

寄付額: **210,000 円 (\$2,000)**

**200,000 円** (2013年11月 日本にて)



➤ 第5軍病院 寄付額: **105,000 円 (\$1,000)**

内戦中政府・軍により運営され、負傷した軍人を治療していたが、内戦終了後、UNTACが進駐し、現在は難民が帰還する中で急増した HIV/AIDS 患者の治療にあっている。



## 支援金は、CMCの現地活動にも役立っています

CMCは現地に事務所を置き、今のような支援が必要かを考え様々なプロジェクトを実施しています。

### 被害者の就業支援



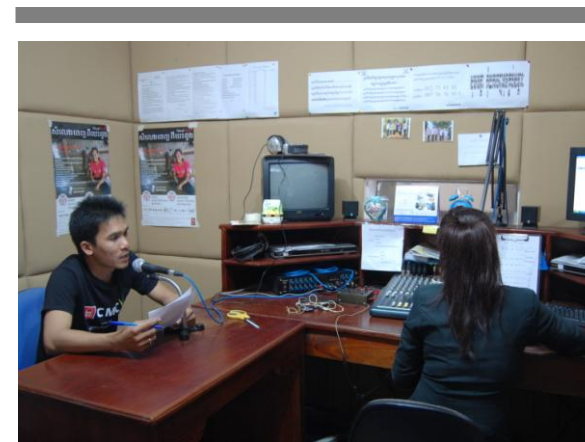
地雷/不発弾などにより手足を負傷した人々が農業以外で安定した収入を得る事が出来る様、パソコン訓練による雇用創出を行っています。

### 地雷危険回避教育



地雷/不発弾の事故を防ぐため、地雷撤去団体で研修を受けたスタッフが地雷原の子供たちに地雷を発見した場合の対処法などの危険回避教育を行っています。

### ラジオ番組の制作・放送



地雷被害者のメンタルケアを目的とし、被害者の心の声を紹介。被害状況や被害に合わないための注意喚起、就業支援などの情報提供なども行っています。

### 学校の運営



CMC ボップイ安倍小学校  
(2004/7月落成)



CMC コントライ夢中学校  
(2008/9月落成)



CMC トゥールポンローみおつくし中学校 (2010/12月落成)